

中期経営計画2023総括

前中期経営計画「中期経営計画2023」で掲げた重点戦略「ミライ価値の共創」と「企業ステージの向上」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた各種取り組みを推進し、経営指標目標を達成しました。今後は、カーボンニュートラル潮流の一層の加速や働く意識の多様化等、新たに加わった変化へも対応し、事業活動を進めます。

ミライ価値の共創

低・脱炭素社会の実現

- e-メタンの社会実装に向け、国内外でサプライチェーン構築を推進
- 再生可能エネルギー事業を拡大し、2023年度目標の250万kWを達成

Newノーマルに対応した暮らしとビジネスの実現

- 新たなサービスを展開し、お客さまアカウント数1,000万件を早期達成
- LBS事業はエネルギーに次ぐ事業の柱として領域を拡大

お客さまと社会のレジリエンス向上

- オペレーションとメンテナンス業務の点検を実施し、業務の仕組みを改善
- 調達量減少や需給ひっ迫のリスクへ対応するため、余裕を持ったLNGの調達を実施

企業ステージの向上

事業ポートフォリオ経営の進化

- 海外エネルギー事業の利益貢献や域外でのガス・電力事業の拡大
- 各事業ユニットの自律的な成長を促進し、2023年度目標のROIC5%を達成

DXによる事業変革

- 「DX企画部」の設置や「Daigas X」の取り組み開始など、DX推進体制を強化
- デジタル人材の育成に向けた教育を実施

従業員一人ひとりの価値の最大化

- DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の推進として、女性の役員比率・取締役比率について目標の20%以上を達成
- 従業員のエンゲージメントを適正水準に維持

「中期経営計画2023」の経営指標目標

「中期経営計画2023」の経営指標目標		2023年度目標	2023年度実績	増減
収益性指標	ROIC ^{※1} (参考:ROE)	5%程度(7.5%程度)	6.1%(7.6%) ^{※2}	+1.1%(+0.1%)
株主還元	配当性向 ^{※3}	30%以上	30.4% ^{※4}	+0.4%
財務健全性指標	D/E比率 ^{※5}	0.7程度	0.51	▲0.19
	自己資本比率 ^{※5}	50%程度	55.9%	+5.9%

※1 ROIC=(経常利益-支払・受取利息-法人税等)÷(有利子負債+自己資本)
有利子負債は、当社にリスクのないリース負債を除く
国内エネルギー事業における一時的な影響を除く
※2 タイムラグ影響を含む2023年度実績は、ROIC7.0%、ROE8.9%
※3 短期的な利益変動要因を除く
※4 タイムラグ影響を含む2023年度実績は、25.7%
※5 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

前中期経営計画発表以降に加わった社会的な変化と事業における課題

労働人口の減少/ 働く意識の多様化の加速

- 中長期視点での人材獲得・育成
- DE&Iの推進

社会課題解決に対する 要請の高まり

- カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの先導
- エネルギーの安定供給の継続実現

不確実性の高まり/ 絶えざる進化の必要性

- 事業ポートフォリオの進化・強靱化
- ガバナンスの強化
- DXの推進